

公 表

第 57 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

1. 競技時間

標準時間 10 時間 00 分

・ モジュール 1 = 6 時間 30 分

打切時間 6 時間 40 分

・ モジュール 2 = 3 時間 30 分

打切時間 3 時間 40 分

※ 休息時間 30 分間含まれず

2. 作業説明

別紙 1 のとおり

3. 仕 様（モジュール別、指示事項）

別紙 2 のとおり

4. 注意事項

別紙 3 のとおり

5. 支給材料及び部材

別紙 4 のとおり

(別紙1)

作業説明

1. 課題の作成はモジュール形式とする。2 工程に分割した作業を決められた時間内に行うこと。
2. 作業台及び作業エリアは常に整理整頓すること。
3. 使用工具、工法は指示事項を除き、自由選択とする。スケール、差し金等、計測用具は J I S 規格品とする。
4. 支給された材料を確認すること。異常のあるときは競技スタート前に申しでること。
5. 持参工具の展開は会場下見の時に行う（付添人も可）。
6. 引き型は図面寸法を採用する。
7. モールディング貼り付け材料は自由とする。ビス止め併用可（有機接着剤は禁止）。
8. 貼り付けた、モールディングと壁の間は、すき間なく仕上げること。
9. 置引き作業時の引き型洗水の容器、容量は最小限度にとどめること。
10. 石膏ボード切断、加工及び置引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。板の継ぎ足し、持ち込み等は不可とする。
11. 軽量鉄骨加工取付け及び石膏ボード切断時は安全のため保護用手袋を着用すること。
12. 課題の下地は平ボードとする。寸法は 1,820×1,820 とする。
13. 作業エリアの床養生は主催者側で行います。
14. 作成したモールディング A・C の切断は箱定木（留め型）の使用を可とするが、指定寸法にあわせ、両側を切断できるように作成した箱定規は禁止する。
モールディング B は箱定木(留め型)を使わず、作業台に切断墨を出すなどしてフリーハンドで切断すること。
15. 取付けたモールディング㊸の天場部は焼石膏にて滑らかに仕上げること。

公表（別紙２）

仕 様（モジュール別、作業内容と説明）

モジュール１

施 工 日：１日目「11 月 16 日（土）」

施工時間：６時間 30 分（８：50～12：00）（13：00～16：40）

（午前・午後、休息時間を 10 分間取る事）

作業内容：各種墨出し作業を行う。袖壁部は図面にに基づき、軽量鉄骨を組み立て、石膏ボードを切断加工して取付ける。

出角部はコーナ一定木を指定個所に取付ける。

厚塗り部は支給した材料を用いて中塗りを行う。

作製した引型を用いて置引き作業を行う。できあがったモールディングを切断加工する。

モールディング④を切断加工後、指定箇所に取り付ける。

作業説明：中心墨、陸墨は各自で出すこと。陸墨は課題中心部の床から 1,000 mm 上がりの位置を基準とする。モールディング取付け墨は時間内に終了する事。

- ・ 袖壁部は軽量鉄骨(ランナ、スタット)を組立て作成する。
- ・ 軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビス間隔は 200 mm 以内とする。
- ・ 厚塗り部の出角部は指定したコーナ一定規を用いて固定する。
- ・ 薄塗り部の出角は薄塗り用コーナテープを接着テープで貼るか、指定した仕上げ材を用いて取り付けること。
- ・ 仕上がったモールディング⑥・⑦は指定寸法に切断加工し取り付けができる状態にすること。
- ・ 置引きの下地に使用する発泡スチロール（1,820×450×10）を支給。
必要であれば使用する（持込み不可）。
- ・ モールディング④の引き型は現地で支給する方眼紙と鉄板を用いて作製後、持参した木型に取付け完成させること。
⑥、⑦の引き型は完成したものを持参してよい。
- ・ 引き型は 1 日目の作業終了後、すべて提出すること。

モジュール2

施工日：2日目「11月17日（日）」

施工時間：3時間30分（午前8：50～12：30）

（休息時間を10分間取ること）

作業内容：壁面上塗りとモールディング®・©の貼り付け、接合部の補修作業。
モールディングB内の鍍塗り仕上げ。

作業説明：壁面は支給した上塗り材を用いて鍍塗り仕上げとする。

- ・正面壁上部はケイソウエコ材を用いて石膏ボード直塗り仕上げとする。
- ・正面壁腰壁及び袖壁はカールヌーボー金鍍仕上げとする。

前日作成した、モールディング®・©を指定寸法に貼り付け、接合部は
焼き石膏を充填して角部を正確に仕上げる。

貼り付けたモールディング®の内壁は自然素材を用いる。

公表（別紙３）

注意事項

- 1.競技中、工具の貸し借りは禁止する。
- 2.電動工具（丸ノコ）の使用を禁止する。充電ドライバーの使用は可。
- 3.安全規則を守ること。ケガをした者は競技委員で協議のうえ対応を決定する。
- 4.休憩時間及び作業終了後は速やかに参加票を提出する。
- 5.作業台は型枠用として市販されている樹脂合板を使用する。（1,800×900×12）。
- 6.置き引きに使用するアルミ製定規は支給する。持ち込み不可。墨出し、その他に使用する定木は持ち込み可とする。
（あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は禁止する）
- 7.軽量鉄骨組み立てに使用するビスは各自持参すること。
- 8.支給したランナ、スタットはビス止めとする。
- 9.スタット固定用のスペーサは使用、不使用どちらでも可。使用するとき持参する。
- 10.モジュール１及び２で使用する塗り材は当日係員が支給する。
- 11.墨出し作業において型板、型紙の使用を禁止する。
- 12.時間超過及び仕様誤り、作業説明、注意事項違反をした場合は減点の対象とする。

公表（別紙 4）

支給材料・部材

番号	品 名	規 格	数量	備 考
1	鉄板	350mm×150mm×0.4mm	1枚	引き型作成
2	焼石膏	吉野石膏桜印A級20kg	2 袋	モールドイング作成
3	マルチベース	日本プラスター(株)既調合 中塗り材+白竜1厘	適量	腰壁厚塗り部コーナー定木 取付け及び中塗り
4	カルヌーヴォ	日本プラスター(株)仕上げ 材・カラー番号C - E55	適量	腰壁厚塗り部上塗り
5	けいそうエコナ	フジワラ化学(株)直塗仕上 げ材・カラー番号:No.223	適量	正面壁直塗上塗り
6	コーナー定規(仕 上げ直塗用)ホワ イトコーナー25 穴あきテープ付 2.5m	Souken ビニールペンキ・ク ロス下地材 商品番号:01166	2本	薄塗り角部取付け
7	フクビニューツー ウェーコーナー定 規	ピン角仕上げ3K=1,820mm	3本	厚塗り角部取付け
8	石膏平ボード	1,820mm×910mm×12.5mm	1枚	袖壁作成
9	アルミ製定木	1,800mm×60mm×25mm	2本	置き引き作業
10	ランナ	(株) 桐井製作所 壁下地材 65型 WR - 65(67×40×0.8) 280mm×67mm	4本	袖壁組立て軽量鉄骨材
11	スタット	(株) 桐井製作所 壁下地材 65型 WS - 65(65×40×0.8) 1,100 mm×65mm	4本	袖壁組立て軽量鉄骨材
12	発泡スチロール	1,800mm×450mm×10mm	1枚	置引き中込め
13	取り舟	小	1個	残土用容器
14	バケツ	18リットル	3個	塗材容器(プラスチック製)
15	作業台	1,800mm×900mm	1台	置引き等、各種作業用
16	置き台	1,800mm×900mm	1台	モールドイング保管用

公 表

第 57 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番 号	品 名	規 格	数 量	備 考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	制限なし
2	工 具 箱	大きさは 1 m ³ 前後	1 個	
3	モールディング貼付け材		適量	有機接着剤不可
4	着色剤		適量	自由課題鍍塗仕上部
5	養生テープ	市販品	適量	
6	延長コード	1 0 m	1 本	
7	保護用手袋	市販品	1 個	ボード切断時着用
8	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参する事

※ 工具箱の大きさは 1 m³ 前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は協議のうえ減点とする。

公 表

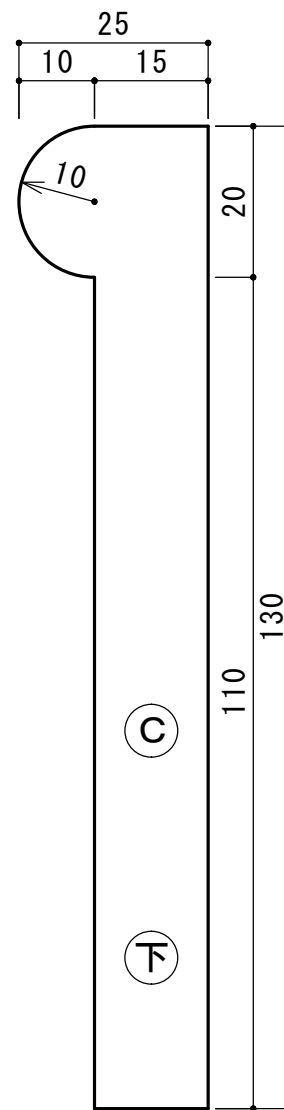
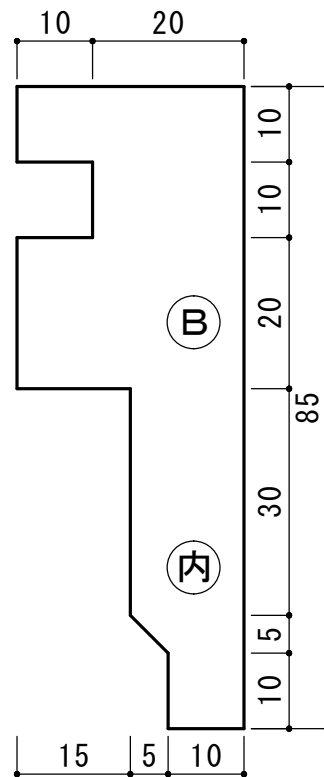
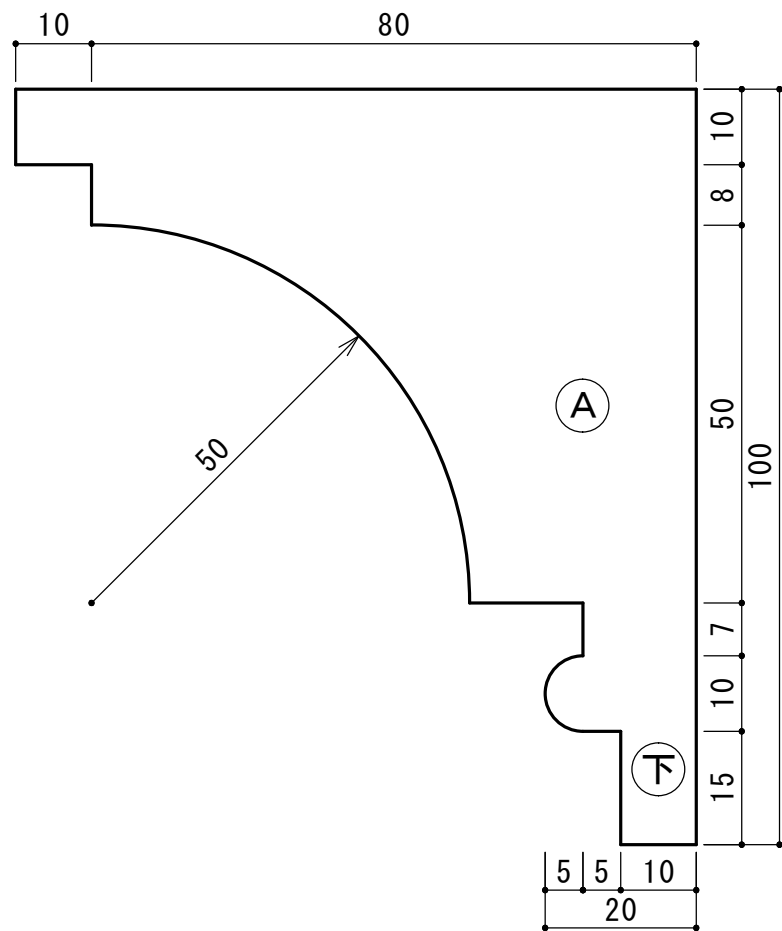
第 57 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題図

1. 別添 第 57 回技能五輪全国大会「左官」職種競技課題のとおり。

1－1 仕上り全体図

1－2 引き型断面図

左官職種 1 - 1 競技課題図



公表

競技 1 日目中塗り材支給希望時間

○ 1 時間単位で記入して下さい。

課題番号	番	氏名
------	---	----

・ 中塗り材料は 時に支給して下さい。

公 表

中塗材 配布時間一覽表

	時 間	課 題 番 号
11月16日 午前	9 : 00	
	10 : 00	
	11 : 00	
11月16日 午後	13 : 00	
	14 : 00	
	15 : 00	
	16 : 00	

第 57 回技能五輪全国大会 Q & A

競技主査 高野雅一

1. 持参する工具箱の容量が 1 m³を超えてもよいか。

回答（第 55 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具一覧表のページに工具箱の大きさは 1 m³前後と明記してあります。著しく大きくなければ OK です。）

2. 置引きの残土を入れる取舟(小)を使わずに、持参した容器を使用してよいか。

回答（よろしいです。持参して使用して下さい。）

3. モールディング加工及び切断補修等に使用するため作成した小型の作業板等を持参してよいか。

回答（作業説明 1 2、置き引き等の作業は備え付けの作業台を使用すること。と明記してありますので、持ち込みは不可です。鉄板加工を作成する作業板は持参してもよろしいです。

4. 引き型作成用に支給される鉄板の材質は何ですか。

回答（アルミニウムと亜鉛合金メッキ鋼板にポリエステル樹脂系塗料を焼き付けた 0.4 mm 厚の塗装合板です。）

5. 置き引き製作時、引き型と同じ寸法で作製した、かいこみ定規を前後に取付けて置き引き作業してよいか。〔置き引きを取り外すと留めの部分ができあがっている。〕

回答（モジュール 1 の作業説明の中で、すべてのモールディングは焼き石膏、置き引き仕上げとする。と明記してあります。留め部分は作製したモールディングを切断して接合、補修して仕上げて下さい。型どおりに作成した定規類をかいこんで仕上げ面を作ることは禁止です。）

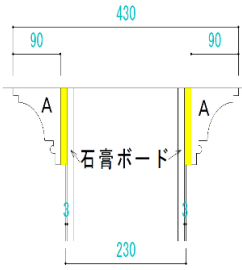
6. 支給した置き引き用アルミ定規に穴をあけてよいか。

回答（穴はあけずに両端を止めて使用して下さい。）

公 表

第 57 回技能五輪全国大会左官職種採点基準表

項 目 区 分	採 点 基 準	配 点	
		項 目 配 点	合 計
施 工 法	置 引 き 墨 出 し モジュール1 モジュール2	36.0	36.0
精 度	寸 法 角 度 水 平 度 垂 直 度 平 面 度 接 合 部 引 き 型	47.0	47.0
作業態度	整 理 整 頓 手 ぎ わ 安 全 作 業	7.0	7.0
外 観	外 観	10.0	10.0
減 点	不安全作業 仕様誤り 不良施工 残土 時間超過		
合 計		100	100

NO.	質問内容	回答内容
Q1	袖壁に使用するスタットですが、1,130mmの長さでは所定寸法に納めるため加工が必要です。当日加工が必要でしょうか？	1,100mmに変更。（支給材料・部材 別紙4）
Q2	袖壁のモールディングAの下は、中塗・仕上を塗った状態で張り付けますか？	石膏ボードに直に張り付けて下さい。 袖壁の小口の寸法を230mmに変更。（競技課題図1-1）
Q3	モールディングCが2日目の取付となっていますが、中塗するときに境界の部分にあて木をしてもよろしいでしょうか？	あて木をせず、コーナー定規を取り付けてから床まで中塗りをして下さい。 2日目にコーナー定規の出角に合わせ、巾木を取り付けてから仕上げ塗りをを行うか、仕上げ塗りを行ってから巾木を取り付けるかは、どちらでもよろしいです。
Q4	<p>袖壁の寸法が変更されましたが、石膏ボードとモールディングAとの間にすきまができてしまいます。 （右図黄色の部分参照）どのようにモールディングAを取りつけたらよろしいでしょうか？</p> 	作業がスムーズに行くよう寸法を訂正しました。
Q5	<p>支給材料、持参工具の中に表記されていない物は持ち込んではいけないのでしょうか？ 例えば、ボード取付用ビス・鉛筆・工具を洗う為の（ブラシ、バケツ、船等）・練り混ぜ用攪拌機などになります。</p>	<p>持参工具一覧表、番号1.の使用工具の覧を確認して下さい。 工具箱に収まる範囲・一式・制限なし。と記載してあります。 作業説明、注意事項を確認して使用工具等を用意して下さい。 電動工具（丸鋸）は使用禁止です。 塗材は当日係員が練ったものを支給しますが、攪拌機を使用するのであれば持参してよろしいです。石膏ボード取付けビスは持参して下さい。</p>
Q6	自由課題部分ですが、事前に作成した石膏彫刻刀を持ち込んでも良いでしょうか？	仕上がった製品を持ち込んで取付けてはいけませんが、工具は持込み自由です。
Q7	<p>寸法の変更が有りましたが、柱箇所の上部分のモール寸法が440mmではないのでしょうか？ 又、それによりその周辺寸法が変わってくるのでしょうか？</p>	モールディング [Ⓐ] 、柱上部の寸法は変わりませんので、図面寸法のとおり、430mmで仕上げて下さい。